

令和6年度 第4回名古屋市日中サービス支援型グループホーム運営評価会議
評価結果（令和7年2月3日開催）

（事前評価）

法人名称	株式会社 e-smile
事業所名称	グランエミシス伏屋
事業所所在地	名古屋市中川区一色新町一丁目 312
評価結果	下記の内容に留意し、適切な事業運営を実施されたい。 ・入居前に本人、家族の希望を聞き取り、実現できるよう支援する法人としての取組みは評価できる。 事業運営するにあたっては、身体・知的・精神障害それぞれの特性に応じて、利用者の個別性及び利用者本人が持つ強みに着目し、利用者の身の回りの生活支援から着実に進めていくこと。 ・原則である同性介助、同性介護の体制を整えること。 ・管理者及びサービス管理責任者の人員配置について、兼務を予定しているとのことである。 人員基準上は問題ないが、兼務することで業務負担の増加が懸念される。管理者は事業所全体の運営管理を担い、サービス管理責任者は個別支援計画の作成やモニタリング、アセスメント及び家族や外部の支援機関との調整等、支援に関わる業務を担当する。それぞれ職種に応じた役割分担を意識し事業所運営にあたること。 また、兼務することで個別支援の質の低下及び事業所運営上の質の低下を招かないよう、法人として事業所を支える体制を構築すること。 ・在宅医療やかかりつけ医への通院等の医療体制について、本人の希望や状況を踏まえ、関係機関とも情報共有した上で、適切な連携体制を構築すること。 医療との関わり方については、本人や家族に説明の上同意を得る等、透明性を確保すること。 ・区自立支援連絡協議会において行われている研修にも積極的に参加する等、法人外の研修も積極的に活用すること。 ・金銭管理について、本人による管理を行うことは自己決定権の尊重や生活スキルの向上といった意味でも重要である。 個別性に着目し、例えば出納記録を利用者、職員及び支援者で確認する、定期的に本人と出納の振り返りを行う仕組みを作る等、環境を整えた上で、本人による管理も行えるよう検討を進めること。

	・金銭管理について、利用者や家族が不安を感じることはないよう、透明性を確保して運用すること。 ・地震や水害等、災害に対応した防災研修を積極的に実施すること。 また、中川区自立支援連絡協議会では防災部会を設けて消防署による講義及び図上訓練等を実施しているため、積極的に部会の活動に参加すること。
--	--